


議 長	局 長	局長補佐	係 長	回 議	主 査
					

北栄町議会議員 山下昭夫

平成27年北栄町議会議員研修会報告書

1. 日 時 平成27年10月27日～29日 2泊3日
2. 調査地 鳥取県八頭町 大阪府柏原市 大阪府泉南市
 京都府綾部市 兵庫県香美町
3. 調査概要よ所感

○有限会社ひよこカンパニー（鳥取県八頭町）

厳選したとうもろこし、米、魚粉、おから、米ぬかを酵母で発酵させたもので、計20種類以上の飼料を配合して給与している。

「平飼い」「飼料」「栄養」「鮮度」「安全」にこだわった主力商品である「天美卵」のブランドで、通信販売主体に地道に販路を拡大していった。1パック10個入りが1000円以上に係わらず、全国10万人以上の顧客がある。

平成20年、スイーツ(プリン、バームクーヘン等)と卵の直売所として、ココガーデンを開設し、様々な製品の開発を行ないつつメニューも拡大して来た。

素材に徹底的にこだわるができる限り、牛乳等材料は地元産を使うことにしている。

(所感)

消費者の信頼を得ながら、安全で良質な物を消費者に安定的に供給し地域経済の維持、活性化に貢献していくことは重要である。

又、自社の強みである卵とスイーツの生産販売、ネット宅配を行っていることが勉強になった。

○カタシモワインフード株式会社（大阪市柏原市）

耕作放棄地解消に向け、地域協働によるぶどう栽培に取り組み、多様な新商品の開発を行い、地域の活性化を実現している。

(所感)

古民家が立ち並ぶ街やぶどう畑の散策で、心がいやされ、ワイン飲酒し楽しい時間がすごせる。古民家カフェや畑の中の「レストラン」で地域活性化に重要な役割を果たしている。

○ハートランド株式会社（大阪府泉南市）

文房具の老舗、コクヨが障害者の雇用促進を目的に、水耕栽培によるサラダほうれん草づくりし、生産した葉菜類は大手スーパーや百貨店に販売している。

(所感)

私たちがすぐに根をあげるような細かい作業も、彼らは集中し、箱詰



や検品をていねいに作業をこなしていました。
社長の「農と福祉の輪を広げたい」という思いが伝わった研修でした。

○水源の里事業の取り組み（京都市綾部市）

水源の里(限界集落)の維持、再生に向けた取り組みです。

・ 水源の里事業の経過

H 18. 4月 水源の里を考える会を設置

H 19. 4月 水源の里条例施行(5年間の時限条例)

5/195 集落を対象に振興策を展開

老富(市茅野、大唐内、栃)古屋、市志

H 24. 4月 新水源の里条例施行(5年間の時限条例)

5集落の取組みを踏まえて、対象自治会を拡大
(56集落に)

・ 水源の里条例の4つの振興目標

1. 定住促進

空き家の掘り起こしやU.Iターン者の定住支援、給付金の
交付

2. 都市との交流

都市住民との交流イベントの開催、貸し農園、オーナー制度
農家民泊、農業体験事業の実施

3. 地域産業の開発と育成

水源の里の資源や技術を活用した特産物の開発、加工、
販売

4. 地域の暮らしの向上

生活基盤の整備 → 行政が実施

(光通信の整備、地デジ対応、携帯電話、不感知の対応)

・ 水源の里における都市農村交流

ふきオーナー園(市志集落)

栃の木を守る作業(古屋集落)

サポーターによる土地の木植栽(老富集落)

・ 都市農村交流(水源の里、古屋集落)

自主応援組織(古屋でがんばろう会)

鹿よけネット設置作業

・ 特産物の開発販売(水源の里、古屋)

「栃の実おかき」「栃の実あられ」

・ 特産物の開発販売(水源の里、老富)

「栃の実入りクッキー、三色あられ、栃餅」

・ 特産品の開発販売(水源の里、市志)

「ふき出荷作業」「やまぶき昆布」

(所感)

古屋集落、自治会長渡辺さん(62才)と5人の女性しか住まわれていない集落で冬には2mも雪が積もるそうです。栃の実を使ったおかし餅販売に取組まれ、又年間3,000人の人がこの集落を訪れるといわれる。「山の中こそ元気にならなければ、下流の街は廃れていく。上流は下流を思い、下流は上流に感謝する理念のもとで、古屋のような水源地域に「水源の里」と位置づけ、過疎対策に歯止めをかけ、集落の振興と活性化を図っておられることを聞き深い感銘を受けました。

○ふるさと教育の取り組み (兵庫県香美町)

香美町ならではの教育環境

(1)個に応じた教育環境が整い、一人一人を磨き育てる教育が可能
香美町の学校園のほとんどは、1学級20人以下の少人数学級であり、個に応じたきめ細かな指導を通して、基礎、基本を徹底しながら、学力面や生活面で子どもを磨き育てる。

(2)校区」ならではの教育資源と教育力に恵まれ、地域が一体となった教育が可能

地域の様々な資源(自然環境、歴史、文化、人材)が身近な教材として、体験的な活動によるふるさと教育を通して、ふるさとの良さや「地域の価値」を見出せる心豊かな人材を育てることが可能

香美町のグローバル化に向けた教育の充実

ア.国際化に対応した教育の充実

英語の授業や外国語活動の時間を充実させ国際理解教育を推進する。

イ.ふるさとを愛する態度を育てる「ふるさと教育」の充実

国際社会で主体的に生きるためには、自分自身の基盤となる地域の理解を深め、尊重する態度や豊かな文化の継承・創造に参加する態度を育てる。

(所感)

トリプルチャレンジ大作戦(小規模校の子どもたちを集め学校園の内外において多人数での合同授業や交流学习の機会をさまざまな場面でつくる)

ふるさと教育(地域の協力を得ながら、自然環境、歴史、文化、人材を活用し、体験を通して先人たちにの知恵や苦勞を子どもたちに伝え、ふるさとの良さや地域の価値を見出させ、ふるさとへ愛着を育てる教育)などその地域の特色を出し、又地域の人の協力を受けながら思いやり、おもてなしの心あふれる人を育てる教育は心に残る研修でありました。